

入試の土台を確立し基礎力を完成させます。

入試理科では、教科書で学習する基礎的な内容だけでなく、さらに進んだ高度な内容の理解が必要です。しかし、基礎がおろそかになっていては、高度な内容の理解が難しいことは言うまでもありません。中学受験コース4年生の理科では「小学校全学年の教科書の内容」を入試の基礎レベルまで一通り学習することで基礎をしっかりと固め、今後学習する高度な内容へつなげます。

学習例：◎受験に必要な小学理科の内容を網羅し、無理なく先取り学習。

要点

●先取りの内容でも無理なく理解

「種子の発芽」は、教科書では5年生で学習する単元です。Z会では4年生での学習段階を考慮し、3年生で学習した内容を導入部分に掲載しています。既習の身近な話題を導入で取り上げることにより、無理なく先取り学習を進めることができます。

18:36 8月13日(木) 小学理科 第1回 要点・練習問題 APV40121B101

去年、学校で、ホウセンカなどのたねをまいたね。
たねをまいたあと、水をやると2～3日で芽が出てきたわ。
ぼくのは芽が出なかったんだ……。
水をやらなかつたらかな？
今日は、たねから芽が出るために必要なひつよう3つのものについて学習するよ。



ホウセンカ

要点

1 種子の発芽

先生の授業を見る

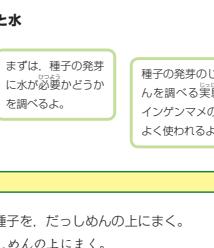
自分で要点を読む

種子とは、これまで「たね」とよんでいたものです。また、**発芽**とは、「種子から芽が出ること」です。今後、「たねから芽が出ること」を「種子の発芽」といいます。

① 種子の発芽と水

まずは、種子の発芽に水が必要かどうか調べるよ。

種子の発芽のじょうけんを調べる実験では、インゲンマメの種子がよく使われるよ。

映像授業

授業ノート

第1回 種子の発芽

1 種子の発芽

「種子」とは、これまで「たね」とよんでいたものです。また、「発芽」とは、「種子から芽が出ること」です。今後、「たねから芽が出ること」を「種子の発芽」といいます。

① 種子の発芽と水

まずは、種子の発芽に水が必要かどうか調べるよ。

種子の発芽のじょうけんを調べる実験では、インゲンマメの種子がよく使われるよ。

② 実験

インゲンマメの種子を、だっしめんの上にまく。
ア かわいだっしめんの上にまく。

1日目 → 9日目 → 発芽しなかったわ。水がないからね……きっと……。

イ 水でしめさせただっしめんの上にまく。
1日目 → 6日目 → 2日目 → 16日目 子葉

(注意) 水のあるなし以外のじょうけんはすべて同じにする。

ア: イ:

要点

●書くことで理解を深める

「種子の発芽」では、入試でよく出題される比較対照実験というやや難しい考え方について学習します。難度の高い内容でも、要点を読んだり授業映像を見たりして内容を理解しながら授業ノートの空欄に言葉や数を書き入れて学習を進めることによって、無理なく理解を深めることができます。

練習問題

2 インゲンマメの種子を水でしめらせただっしめんの上にまいたものを、次のように置く実験をしました。あとの問に答えなさい。

① 日当たりのよい25℃くらいの部屋に置いた。

② 日当たりのよい25℃くらいの部屋に置き、その上から箱をかぶせて中をまっ暗にした。

③ とびらをしめるとまっ暗になる冷ぞう庫の中に置いて、とびらをした。

(1) ①と②では同じように芽が出ました。この結果から、どんなことがわかりますか。次のア～エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

ア 芽が出るために、日光は必要である。

イ 芽が出るために、日光は必要でない。

ウ 芽が出るために、水は必要である。

エ 芽が出るために、空気は必要である。

(2) ③では芽が出ませんでした。このような結果になった原因が、温度のちがいであったことを調べます。①・②のうちどちらの実験と③の実験をくらべると、結果のちがいが「温度のちがい」であるといえますか。番号を書きなさい。

受験に必要な知識を提供

なるほどチェック イネの種子のつくり

植物の種子は台所にもあります。毎日のように食べているご飯のもとになるお米は、イネという植物の種子です。イネの種子には、右の図のように、「はい」という子葉や根・くき・葉になるものがついている部分と、「はいにゅう」という部分があります。インゲンマメは「子葉」に発芽のための養分をたくわえていますが、イネは「はいにゅう」に発芽のための養分をたくわえています。わたしたちは、このはいにゅうの部分をご飯として食べて養分をとっているのです。

